



# CAT 4.17.1 ユーザマニュアル

## - 導入編 -

最終更新日 2020/06/26

## 商標について

下記の他社登録商標・商標をはじめ、本マニュアルに記載されているシステム名、製品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

- Microsoft, Windows, Internet Explorer, Excel, Windows Server, Active Directory Federation Service, Azure Active Directory は米国およびその他の国における Microsoft Corporation および/またはその関連会社の登録商標または商標です。
- Google, Google Chrome は米国およびその他の国における Google Inc. および/またはその関連会社の登録商標または商標です。
- Atlassian, JIRA は豪州およびその他の国における Atlassian および/またはその関連会社の登録商標または商標です。
- GitHub は米国およびその他の国における GitHub 登録商標または商標です。
- Backlog は、株式会社ヌーラボの商標または登録商標です。
- Slack は Slack Technologies, Inc. および/またはその関連会社の商標です。

## 著作物について

下記の第三者の著作物については、各著作物のライセンス等をご確認ください。

- Redmine は Jean-Philippe Lang 氏の著作物であり、GPL ライセンスで配布されています。

## 目次

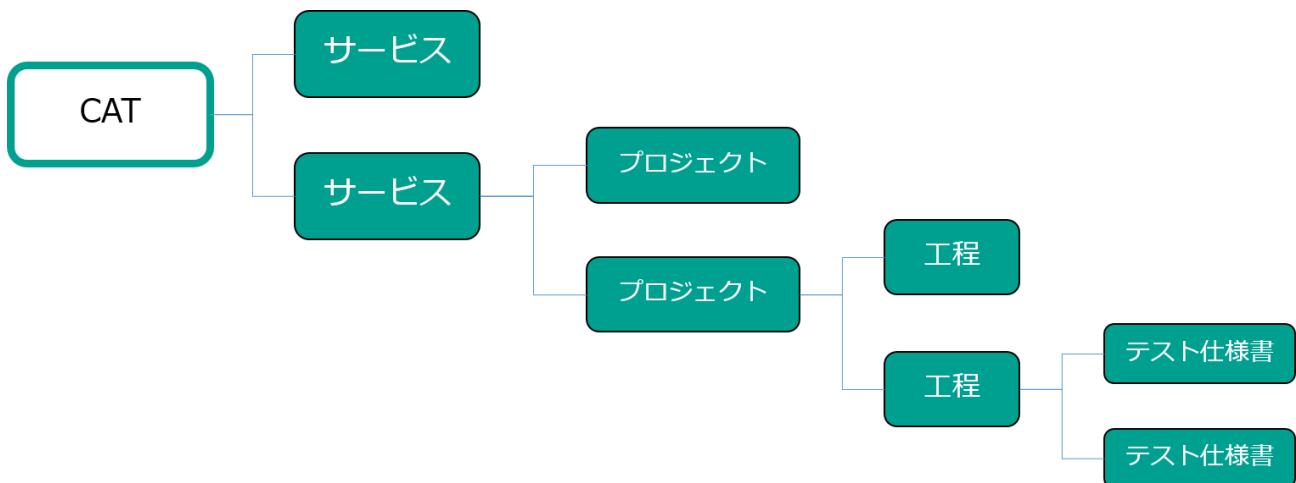
<b>第1章 はじめに .....</b>	<b>1</b>
1.1. CAT 基本情報 .....	1
1.1.1. CAT の構造について .....	1
1.1.2. CAT の課題管理の種類について .....	3
1.2. ユーザ管理 .....	4
1.2.1. ユーザ権限について .....	4
1.3. 課題の管理 .....	5
1.3.1. 課題の種別、ステータス、フィールド .....	5
1.3.2. 課題管理の構造 .....	7
1.3.3. 各機能で障害(不具合)として扱う種別について .....	8
1.4. 画面別概要説明 .....	9
1.5. ウィザードで初期プロジェクト設定をする .....	15
1.6. IP アドレスによるアクセス制限を行う .....	18
1.7. ユーザを追加する .....	19
1.7.1. ユーザの新規作成 .....	19
1.8. ユーザ画像、表示言語、外部 BTS のパスワードを設定する .....	21
1.9. ログインしているユーザのパスワードを設定する .....	23
1.9.1. パスワードを変更する .....	23
1.9.2. パスワードを再設定する .....	23
1.10. 利用するプロジェクトを選択する .....	25
1.11. 全画面で共通する機能 .....	26
1.11.1. グリッド表示について .....	26
1.11.2. 文字列検索機能について .....	27
1.11.3. ブラウザのタイトル表示について .....	28
1.11.4. URL について .....	28
<b>第2章 制限事項 .....</b>	<b>29</b>
2.1. サポート環境 .....	29
2.2. 登録可能なファイル形式 .....	30

# 第1章 はじめに

## 1.1. CAT 基本情報

### 1.1.1. CAT の構造について

CAT は以下の構造でデータを管理します。



サービス、プロジェクト、工程の 3 つの階層は CAT のデータ管理の重要な単位になります。サービスは、開発する製品やサービスを示しています。サービス毎にチームの設定を行い、サービスの課題を管理することができます。次に、サービスの中には開発するプロジェクトを作成することができ、テスト仕様書や課題等を管理することができます。また、プロジェクトの中に工程を作成していた場合は、プロジェクトを任意の期間に区切り、テスト仕様書や課題等のデータを管理することができます。

設定項目は以下のレベルで管理され、上位レベルで設定した内容を、下位レベルで利用することができます。

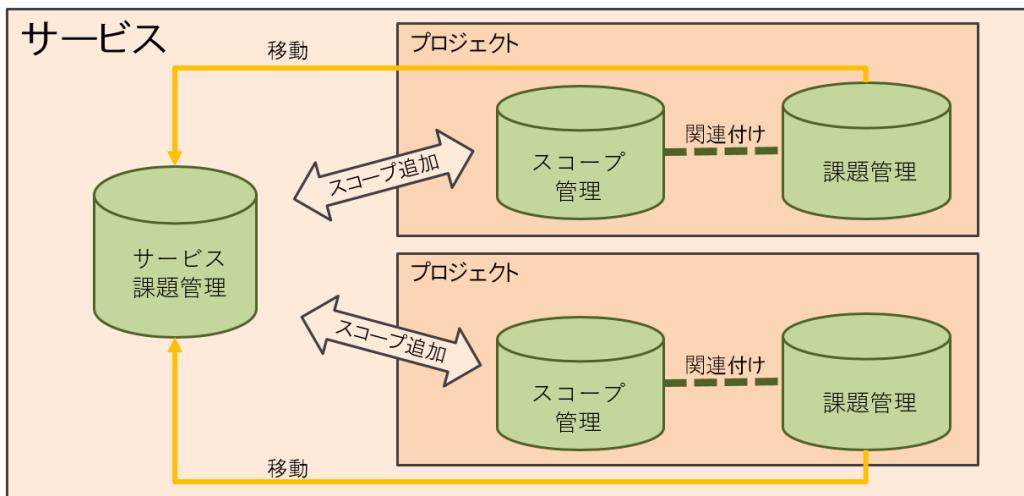
上位 システム設定	>	サービス設定	>	下位 プロジェクト設定
--------------	---	--------	---	----------------

以下の表に各レベルの設定項目を示します。

レベル	設定項目	備考
システム設定	ユーザ設定	ユーザの作成やパスワードの設定等を行います。
	課題設定	各サービスやプロジェクトで利用する、種別の管理や、ステータスの管理、共通フィールドの設定等を行います。
	その他設定	グループやアクセス、認証の設定等を行います。
サービス設定	サービスの基本設定	製品が持つ機能一覧の設定や、サービス課題のメール設定、サービスに所属しているチームの設定ができます。
	テストの基本設定	テストステータスの設定や利用するテスト区分、テスト仕様書に付与することができるカスタムフィールドやケース編集フィールドを設定できます。
	サービス課題の設定	新しいプロジェクトを作成した際、自動的に読み込まれる課題のテンプレートの設定を行います。
	バージョンの設定	製品のバージョン一覧の設定を行います。
	ヘッダーテンプレートの設定	テスト仕様書を作成する際に利用できる、テンプレートを作成します。
	ビジネスチャット連携の設定	課題の通知やレポート、メールを Slack もしくは Microsoft Teams に送るための設定をします。
	外部参照 URL の設定	外部参照 URL の管理を行います。CAT のデータを外部から参照できる URL を設定します。
プロジェクト設定	基本情報の設定	プロジェクトの期間や、工程、チームの設定を行います。
	詳細情報の設定	テスト対象や機能数、設計工数などの詳細情報の設定を行います。
	課題の設定	このプロジェクトで利用する課題の設定を行います。
	外部 BTS の設定	サードパーティ製の課題設定ツールとの連携を行います。
	テスト環境の設定	テストを行う環境の登録をします。

### 1.1.2. CAT の課題管理の種類について

CATにはサービス課題管理、スコープ管理、課題管理と異なる課題管理があります。この節では各課題管理機能について説明します。



#### ■ サービス課題管理

リリース後の障害情報や要望等を効率的に管理することができます。

詳細につきましては「CAT ユーザマニュアル – 基礎編 第7章 サービス課題を管理する」を確認ください。

#### ■ スコープ管理

スコープとテスト仕様書、障害、ソースコード等を紐付けて一元管理することができます。

※スコープはサービス課題管理の中から選択して登録ができます。

詳細につきましては「CAT ユーザマニュアル – 基礎編 第1章 スコープを管理する」を確認ください。

#### ■ 課題管理

プロジェクトで発生した課題や障害等を管理する機能です。

チーム間のコラボレーションを促進し効率的に課題を解決することができます。

詳細につきましては「CAT ユーザマニュアル – 基礎編第4章 課題(障害・要望・問合せ等)を管理する」を確認ください。

## 1.2. ユーザ管理

### 1.2.1. ユーザ権限について

CAT では 4 種類のユーザ権限が存在します。権限により利用できる機能が異なります。ユーザの権限による違いは以下の通りです。

レベル	機能	社員 (管理者)	社員	協力 会社	顧客
システム	ユーザ管理	●			
	アクセス制限管理	●			
	課題の設定	●			
	グループ管理	●	●		
	ランク・勤務地の設定	●	●		
サービス	サービスの作成	●			
	サービスの設定	●	○		
	チーム管理と共有情報の管理	●	○※1		
	サービス課題の参照・登録・編集・削除	●	○※2	○※1	○※1
プロジェクト	プロジェクトの作成	●	○		
	プロジェクトの設定	●	○		
	プロジェクトの参照	●	○	○	○
	スコープ管理 (参照・編集)	●	○	○※2	○※1
	テストケース管理 (登録・編集・削除)	●	○	○※2	○※1
	テストケースの参照	●	○	○	○
	テスト実行	●	○	○※2	○※1
	課題の登録・編集・削除	●	○	○	○※1
	課題の参照	●	○	○	○
	テスト課題の参照・登録・編集・削除	●	○	○	○※2
	進捗管理 (テスト予定入力)	●	○	○	
	全体進捗・詳細進捗の参照	●	○	○	○
	詳細進捗のメンバー毎の実績/予定の参照	●	○	○	○※1
	分析機能の参照	●	○	○	○
	メンバー分析のテスト観点の参照	●	○	○	○※1

● : 全てのサービス・プロジェクトで実行可能です。

○ : メンバー登録されているサービス、もしくはそのサービス内で参照権限を持つプロジェクトに限り実行可能です。

※1 初期状態では実行できません。チーム設定で権限を選択できます。

※2 初期状態では実行可能です。チーム設定で権限を選択できます。

## 1.3. 課題の管理

CAT では、課題を種別毎に管理し、種別毎に表示させたいステータスやフィールドを選択することができます。また、CAT の課題の設定は、システム設定、サービス設定、プロジェクト設定の 3 つのレベルで設定を行います。

本節では、課題の種別、ステータス、フィールドについて説明した後、課題の設定のレベル構造について説明します。

### 1.3.1. 課題の種別、ステータス、フィールド

#### 課題の種別

利用者は課題を種別毎に管理することができます。種別毎に様々な入力フィールドを持たせることができるため、用途に合わせた利用が可能になります。

##### [初期種別]

以下の 3 種類の課題と 1 種類のサブタスクが用意されています。

種別	概要
不具合	ソフトウェアの不具合を管理する際に利用します。
要望	ソフトウェアに対する要望を管理する際に利用します。
問い合わせ	ソフトウェアに関するお問い合わせを管理する際に利用します。
サブタスク	課題を実行可能な小さい単位のタスクに分割し管理する際に利用します。親課題が必要になります。

#### 課題のステータス

課題のステータスを自由に設定し、利用することができます。「設定」→「課題管理」→「ステータス管理」よりステータスの新規作成、編集、削除を行います。作成したステータスは、プロジェクト設定で種別毎に割り当てて利用することができます。

##### [初期ステータス]

ステータス	ステータスタイプ	説明
新規	新規	課題が新規登録された際に利用します。
着手中	着手中	担当者が対応中の際に利用します。
修正完了	着手中	対応が完了した際に利用します。
修正確認完了	着手中	対応完了が確認された際に利用します。
差し戻し	着手中	修正が正しく行われていなかった際に利用します。
再現待ち	着手中	課題の再現ができない際に利用します。
見送り	完了	課題の対応を見送る際に利用します。
保留	着手中	課題の対応を保留する際に利用します。
終了	完了	課題が終了した際に設定します。

## [ステータスのタイプ]

ステータスのタイプは3種類存在し、ステータス毎にご自由に設定することができます。

ステータスタイプ	説明
新規	新たに発見された、未対応の課題に利用されるタイプです。
着手中	対応中の課題に利用されるタイプです。
完了	対応が終了した課題に利用されるタイプです。

※ステータスタイプが完了に設定されているステータスは、各機能において、終了された課題として集計されます。

## 課題のフィールド

課題のフィールドを自由に設定し、利用することができます。「設定」→「課題管理」→「カスタムフィールドの管理」よりカスタムフィールドの新規作成、編集、削除を行うことが出来ます。作成したカスタムフィールドは、システム設定の中の「課題管理」→「種別の管理」より、種別毎に割り当てることができ、種別の利用するフィールドを詳細に設定することができます。

## [フィールドの種類]

フィールド種類	説明
システムフィールド	予めシステムで標準搭載しているフィールドです。 ※ID1000番未満のものが該当します。
カスタムフィールド	自由に設定できるフィールドです。 ※ID1000番以上のものが該当します。

新規で課題の種別を作成した場合は、以下のフィールドが初期フィールドとして設定されています。必要に応じてカスタムフィールドの追加、変更、削除を行ってください。

## [初期フィールド]

フィールド	説明
優先度	優先度を設定する際に利用します。
重要度	重要度を設定する際に利用します。
開発担当者	課題が発生した箇所の開発担当者を記載する際に利用します。
環境依存性	環境依存性を記載する際に利用します。
機能	機能を設定する際に利用します。
納期	納期を設定する際に利用します。
スコープ	課題に関連するスコープを設定する際に利用します。
操作手順	課題再現の手順を説明する際に利用します。
再現性の有無	課題に再現性があるかを記載する際に利用します。
発生環境	発生環境を記載する際に利用します。
担当者	課題対応の担当者を記載する際に利用します。
報告者	報告者を記載する際に利用します。
発生バージョン	課題が発生したバージョンを記載する際に利用します。
修正バージョン	修正を修整するバージョンを記載する際に利用します。
添付ファイル	課題にファイルを添付する際に利用します。
見積工数(時間)	その課題の対応にかかる工数を記載する際に利用します。 バーンダウンチャートの作業量の見積根拠となります。

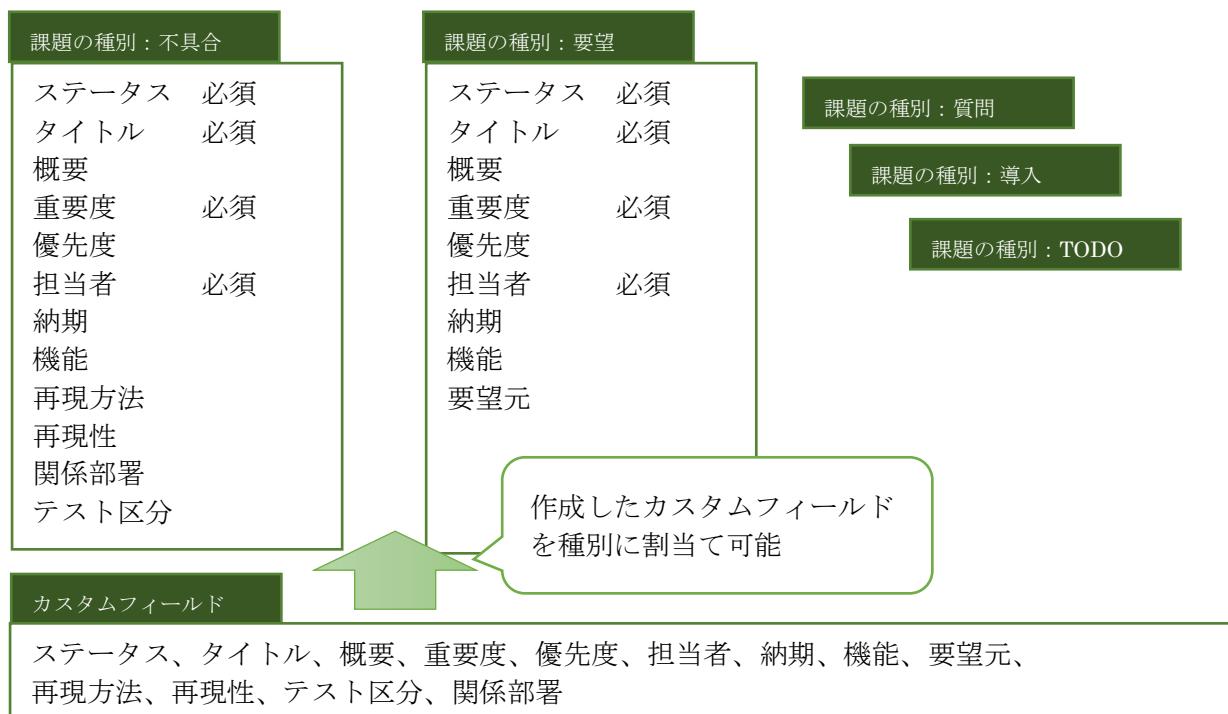
### 1.3.2. 課題管理の構造

CAT では柔軟にフィールドのカスタマイズを実施するために、以下の構造でフィールドの設定管理を行います。

#### 1. システム設定において、課題の種別を設定する

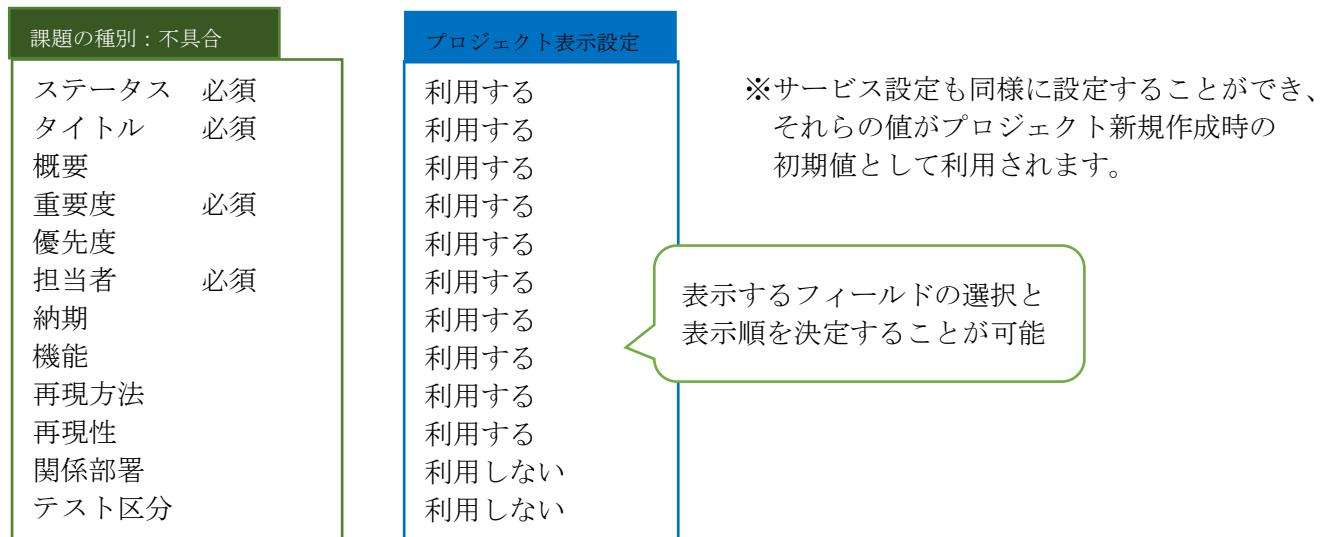
システム設定で、課題の種別を作成し、種別毎に利用するフィールドの選択や、選択したフィールドの必須設定を行います。種別には事前に作成したカスタムフィールドを割り当てることができます。

[ 例：不具合と要望の種別を作成し、異なるフィールド設定を行った場合 ]



#### 2. プロジェクト設定で、システム設定で作成した種別の中から利用する種別を選択します。

また、プロジェクト設定では選択した種別に対して、表示するフィールドの選択や表示順番を設定することができます。



### 1.3.3. 各機能で障害(不具合)として扱う種別について

CAT では以下の機能で障害の発生数や発生率を表示します。

[一部の課題種別を障害として計上・利用する機能]

- ・プロジェクトステータス>サマリ>登録障害数
- ・プロジェクトメール・Slack 連携
- ・全体進捗>障害種別のみ表示
- ・分析画面>各タブ>表示設定>課題種別の初期値

上記の画面ではプロジェクトで利用しているどの種別を障害として扱うか、次の画面で設定できます。

[設定箇所]

プロジェクト管理>(任意のプロジェクト)>プロジェクト基本情報設定>障害定義



問合せ等、障害として扱わない種別を定義し、各機能で正しい障害数を表示できます。

## 1.4. 画面別概要説明

本章では CAT の基本画面について説明します。まず、CAT のヘッダーについて説明します。ヘッダーは CAT の全画面上部に表示されます。



ヘッダー機能

No	アイテム	操作
1	CAT ロゴ	・トップ画面へ移動
2	プロジェクトドロップダウンリスト	・最近のプロジェクトへ移動 ・プロジェクト一覧へ移動
3	課題登録ボタン	・課題管理機能への課題の起票
4	プロフィールアイコンボタン	・アカウント設定 ・問い合わせ ・ログアウト
5	設定ボタン	・サービス管理 ・プロジェクト管理 ・ユーザ管理 ・課題管理 ・システム管理

また、CAT 基本画面では以下のようなメニューバーがヘッダ一下に表示されます。



各メニュー ボタンを押すことで該当する基本画面に移動します。また、表示中のサービス、プロジェクト、工程を確認することができます。

続いて CAT の基本画面について説明します。CAT には以下のような基本画面が存在します。

- (1) プロジェクト情報画面
- (2) テスト管理画面
  - (ア) 仕様書一覧画面
  - (イ) テストケース編集画面
  - (ウ) テスト実行画面
- (3) 課題管理画面
- (4) 全体進捗画面

- (5) 詳細進捗画面
- (6) テスト課題管理画面
- (7) 分析画面

ここでは各画面の概要のみを説明します。

## (1) プロジェクト情報画面

The screenshot displays the 'Project Information' screen. It includes sections for 'Project Status' (status: 'In Progress'), 'Summary' (test cases: 573 total, 573 scheduled, 0 completed; tasks: 562 total, 205 completed, 357 pending), and 'Task Status' (3 assigned, 1 completed). A 'Project Settings' button is also visible.

プロジェクトのトップページです。テスト状況、課題状況等のプロジェクトの様々なステータスを確認することができます。テスト状況の仕様書と課題状況の課題数はそれぞれリンクとなっており、それぞれの仕様書、課題一覧に遷移します。

また、プロジェクト設定ボタンからプロジェクト設定を行うことができます。プロジェクト設定ではプロジェクト情報の設定や課題、外部 BTS、テスト環境の設定が可能です。

## (2) ケース管理画面

ケース管理画面には主に次の 3 つの画面があります。

- (ア) テスト仕様書一覧画面

The screenshot shows the 'Test Specification Document List' screen. It lists documents such as 'Pattern1' (author: SHIFT\_USER, 88% pass rate), 'Pattern3' (author: SHIFT\_USER, 97% pass rate), and 'Pattern3' (author: SFT\_中沢, 53% pass rate). A search bar and filter options are also present.

テスト仕様書の一覧を確認することができます。また、ここからテストケース編集画面及びテスト実行画面への遷移、あるいはテストケースのアップロード・ダウンロード等が可能です。

## (イ) テストケース編集画面



The screenshot shows a table with the following columns: ID, 画面名 (Page Name), 大項目 (Major Item), 中項目 (Sub Item), 小項目 (Detail Item), 期待される結果 (Expected Result), Result1, Result2, and 備考 (Remarks). The rows are:

- Row 1: ID 1, 画面名 "進捗管理 詳細進捗", 大項目 "タスク一覧(左画面)", 中項目 "初期表示", 小項目 "列タイトル", 期待される結果 "表の列タイトルとして以下が表示されていること: ID、テスト仕様書名/結果、列名、機能、テスト区分、担当者、開始日、終了日、ケース数、消化数、全体進捗、本日進捗、残日数、実行時間", Result1 OK, Result2 OK.
- Row 2: ID 2, 画面名 "進捗管理 詳細進捗", 大項目 "タスク一覧(左画面)", 中項目 "初期表示", 小項目 "チェックボックス", 期待される結果 "テスト仕様書の左にチェックボックスが配置されていること", Result1 OK, Result2 OK.
- Row 3: ID 3, 画面名 "進捗管理 詳細進捗", 大項目 "ページャー", 中項目 "表示件数", 小項目 "初期値確認", 期待される結果 "初期表示件数は50に変更", Result1 OK, Result2 OK.

登録したテストケースの編集をることができます。

## (ウ) テスト実行画面



The screenshot shows a table with the following columns: ID, 画面名 (Page Name), 大項目 (Major Item), 中項目 (Sub Item), 小項目 (Detail Item), 期待される結果 (Expected Result), (Window (Window / iPad Air 優先)), and 備考 (Remarks). The rows are:

- Row 1: ID 1, 画面名 "テスト課題一覧", 大項目 "初期表示", 中項目 "各カラム", 小項目 "修正済", 期待される結果 "初期表示における表の列タイトル(No.、タイトル、発生日時、アース、起因、優先度、影響工数(H))が表示されていること", (Window (Window / iPad Air 優先)) "修正済", 備考 "No.=ID 起因なし".
- Row 2: ID 2, 画面名 "テスト課題一覧", 大項目 "初期表示", 中項目 "各カラム", 小項目 "OK", 期待される結果 "列タイトルでカラム選択を押下すると、No.、タイトル、発生日時、アース、起因、優先度、影響工数(H)が表示される", (Window (Window / iPad Air 優先)) "OK", 備考 "終了日時もあり".
- Row 3: ID 3, 画面名 "テスト課題一覧", 大項目 "初期表示", 中項目 "表示行数", 小項目 "OK", 期待される結果 "初期表示件数は100件であること", (Window (Window / iPad Air 優先)) "OK", 備考 "".

登録したテスト仕様書の実行や実行状況の確認、ダウンロード、実行中に発見した障害の報告等を行うことができます。

### (3) 課題管理画面

課題を管理することができます。課題の登録や編集、削除、参照、ダウンロードが可能です。また、フィルター機能を用いて障害をフィルタリングすることができます。

### (4) 全体進捗画面

テストの進捗状況をグラフとテーブルで確認することができます。表示期間の変更や表示するグラフの変更等の操作が可能です。

## CAT 4.17.0 ユーザマニュアル - 導入編 -

### (5) 詳細進捗画面

ID	機能	テスト仕様書	担当者	監査担当者	ケース数	残ケース数	進捗率	発見障害数	2014/05/31
8	外部サービ...	【Pattern1】04.Testing specification(画面系_詳細進捗)			35	4	88%	6	-
25	履歴管理	【Pattern3】既存テスト_05.その他機能			47	1	97%	0	-

テスト仕様書 実績/予定、テスト環境 実績、メンバー 実績/予定の確認や非稼働日の入力、テスト予定の登録を行うことができます。入力したテスト予定は全体進捗に予定グラフとして表示されます。

### (6) テスト課題管理画面

ID	タイトル	ステータス	実行制御	優先度	担当	発生日時	影響工数(H)
18	テスト環境の準備が遅れていてテストが実行できない	新規	無効	P3(中)		2018/05/16 16:00	0.00
17	ファイル共有	新規	無効	P3(中)		2018/03/07 11:00	0.00

テスト実行の障害となるテスト課題の管理を行うことができます。テスト課題を登録することで、テスト課題が発生しているテスト仕様書の実行を禁止することができます。またテスト課題の発生状況は詳細進捗画面に反映されます。

(7) 分析画面

機能	課題重要度								関連分析					
	Blocker	Critical	Major	Normal	Minor	Trivial	Enhancement	空白	合計	ケース数	課題数/ケース数	ステップ数(Kstep)	ケース数/Kstep	課題数/Kstep
進捗管理	0 0 %	3 1.4 %	19 8.8 %	42 19.5 %	14 6.5 %	9 4.2 %	0 0 %	0 0 %	87 40.5 %	2375	0.04	15.39	154.27	5.65
重要課題管理	1 0.5 %	3 1.4 %	12 5.6 %	35 16.3 %	4 1.9 %	4 1.9 %	0 0 %	0 0 %	59 27.4 %	72	0.82	7.56	9.53	7.81

グラフとテーブルを用いてプロジェクト情報を分析することができます。観点や表示種別、グラフ表示を変更することで様々な分析を行うことができます。

## 1.5. ウィザードで初期プロジェクト設定をする

ご導入後はじめて CAT にログインすると、初期プロジェクト作成ウィザードが起動します。



STEP1：サービスの登録（詳しくは ユーザマニュアル - 活用編 - を参照ください。）

サービス名とサービスキーを入力し、次へを押してください。他の項目は後ほど入力可能です。

※必要に応じてここで登録することも可能です。

サービス名	CATWizard	1文字~200文字まで (例)CAT開発
サービスキー	CATWiz	半角英数字 1文字~6文字まで (例) CATDEV
コメント		
機密	<input type="checkbox"/>	

部署名

次へ

- STEP2 :** ユーザの作成 (「1.7 ユーザを追加する」を参照してください。)  
 CAT 構築時に申請したユーザを社員（管理者）権限で初期登録しています。  
 後ほどユーザ登録可能ですので、ここでは、何もせずに次へを押してください。



※必要に応じてここで初期ユーザ登録することも可能です。

- STEP3 :** STEP2 で登録したユーザをサービスに所属させる場合、チーム登録画面で登録をします。



- STEP4 :** プロジェクトの作成 (詳しくは ユーザマニュアル - 活用編 - を参照してください。)  
 プロジェクトの基本情報を入力し、初期プロジェクトを作成します。

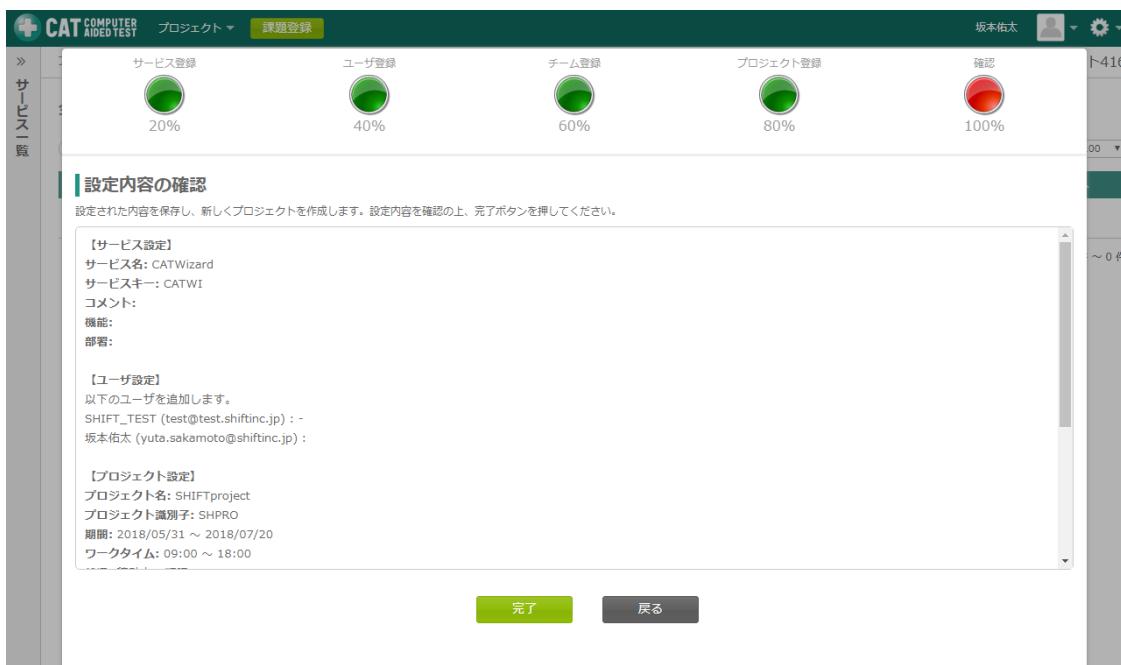


必須項目(\*)のみを入力し、次へを押してください。

### STEP5 : 登録内容の確認

これまでの設定内容が表示されます。

完了を押して、ウィザードを終了します。



以上で、ウィザードは終了となります。

## 1.6. IP アドレスによるアクセス制限を行う

CAT 構築時には、CAT はどこからでもアクセス可能な状態になっております。セキュリティを高めるために、アクセスの可能性のあるグローバル IP アドレスを登録することにより、ログイン先を限定することが可能です。管理者権限のユーザで以下の操作を行ってください。

※セキュリティの観点から、接続先を制限して利用することをお勧めします。

- (1) 設定ボタンにマウスオーバーし、ドロップダウン上のシステム管理を押します。



- (2) アクセス制限管理ボタンを押します。

TCM		項目名	説明
部署管理		部署情報を閲覧・新規作成・編集する	
<b>アクセス制限管理</b>		CATへのアクセス制限を設定する	

- (3) IP 制限の無効ボタンをクリックし、アクセス制限を有効にします。

アクセス制限管理													
アクセス制限が必要な場合は、アクセス制限を有効にし許可するIPアドレスを設定してください。													
アクセス制限	<input checked="" type="checkbox"/> 現在、許可されたIPアドレスからのみアクセス可能です。												
アクセス元IP	* 現在のアクセス元IP が含まれています。 <table border="1"><thead><tr><th>ID</th><th>IP</th><th>説明</th><th>更新者</th><th>更新時間</th><th>削除</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td></td><td></td><td>-</td><td>2017/09/15 22:22</td><td>X</td></tr></tbody></table>	ID	IP	説明	更新者	更新時間	削除	1			-	2017/09/15 22:22	X
ID	IP	説明	更新者	更新時間	削除								
1			-	2017/09/15 22:22	X								

- (4) アクセスを許可する IP アドレスを入力し、登録ボタンを押します。

必要に応じて説明欄に許可 IP の利用者や場所等を記入ください。

許可 IP リストに記載された IP アドレス以外からのアクセスはできなくなります。解除する場合は有効ボタンを押すことで無効化できます。

※ご利用環境のゲートウェイのグローバル IP アドレスを設定してください。(入力する IP アドレスが不明な場合は、社内のシステム管理者等にご確認ください)

※IPv6 には対応しておりません。IPv4 は CIDR 表記に対応しております。(クラス B まで指定可能)

アクセス制限管理													
アクセス制限が必要な場合は、アクセス制限を有効にし許可するIPアドレスを設定してください。													
アクセス制限	<input checked="" type="checkbox"/> 現在、許可されたIPアドレスからのみアクセス可能です。												
アクセス元IP	* 現在のアクセス元IP が含まれています。												
許可IPリスト	<table border="1"><thead><tr><th>ID</th><th>IP</th><th>説明</th><th>更新者</th><th>更新時間</th><th>削除</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td></td><td></td><td>-</td><td>2017/09/15 22:22</td><td>X</td></tr></tbody></table>	ID	IP	説明	更新者	更新時間	削除	1			-	2017/09/15 22:22	X
ID	IP	説明	更新者	更新時間	削除								
1			-	2017/09/15 22:22	X								

## 1.7. ユーザを追加する

ユーザを追加の方法を説明します。本編で説明する追加方法以外に、ファイルによる一括登録もあります。そちらは「CAT ユーザマニュアル・活用編・」を確認ください。

### 1.7.1. ユーザの新規作成

新しいユーザを登録します。以下の操作を行ってください。

- (1) ヘッダーのドロップダウンからユーザ管理を押します。

- (2) 新規登録ボタンを押し、ドロップダウンのユーザ登録を押します。

- (3) ユーザ情報を入力し、登録ボタンを押します。

ユーザ名	testes
認証方式	CAT
Eメール	testes@rmail.com
ログインID	testes@rmail.com
権限	社員メンバー
管理者権限を付与する	□
部署	--選択--
階級	--選択--
ランク	--選択--
勤務地	--選択--
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 入社予定 <input type="radio"/> 在籍中 <input type="radio"/> 退職済み
メール送信形式	HTML形式
入社日	
退職日	
プロフィール写真	ファイルを選択 添付可能なファイル形式

#### [画面項目]

項目	説明
認証方式	CAT か認証設定で登録した外部認証を選択します。 外部認証を選択した場合、設定内容により設定可能項目が変動します。
ユーザ名	ユーザ名称を入力します。

ログイン ID としてメールアドレスを利用	CAT では、ログイン ID にメールアドレスの利用を推奨します。初期表示はチェックがついており、ログイン ID への入力が不可です。ログイン ID とメールアドレスを個別に設定したい場合はチェックをはずしてください。
ログイン ID	ログイン ID を入力します。
メールアドレス	CAT から登録いただいたメールアドレスにメールが送信されます。
パスワード	<p>パスワードを設定します。</p> <p>※メールアドレスを設定した場合、パスワードを空欄で登録するとメールアドレス宛にパスワード設定メールが送信されます。</p> <p>メールアドレス未設定の場合、初期パスワードの設定は必須です。</p> <p>※パスワードの制約は次の通りです。</p> <p>文字数：8 文字、有効期限：60 日</p> <p>変更が必要な場合、サポートまでご連絡ください。</p>
権限	社員、協力会社、顧客の 3 つの権限から選択できます。 権限毎の動きの違いは「 <a href="#">2.2.ユーザ権限</a> 」を参照してください。
管理者権限を付与する	管理者権限を付与します。管理者権限は社員メンバーに対してのみ付与できます。少なくとも 1 人の管理者を用意する必要があります。
グループ	グループ設定で登録したグループを選択します。 「 <a href="#">CAT ユーザマニュアル - 活用編 -</a> 」を参照ください。
ランク	その他設定で登録したランクを選択します。 「 <a href="#">CAT ユーザマニュアル - 活用編 -</a> 」を参照ください。
勤務地	その他設定で登録した勤務地を登録します。 「 <a href="#">CAT ユーザマニュアル - 活用編 -</a> 」を参照ください。
ステータス	ユーザのステータスを入力します。
メール送信形式	受信したいメールの送信形式を選択できます。なお、メール送信形式が HTML 形式以外である場合にも、レポートメールは HTML 形式で送信されます。
入社日	ユーザの入社日を入力します。
退職日	ユーザの退職日を入力します。
プロフィール写真	ユーザのプロフィール写真を登録します。 プロフィール画像は CAT にて 100KB 程度に圧縮して登録します。

## 1.8. ユーザ画像、表示言語、外部 BTS のパスワードを設定する

CAT ではユーザ毎にプロファイル設定画面があり、プロファイル画像の変更や言語の変更、パスワードの変更等が管理者権限を持たないユーザでも可能です。パスワードの変更については「1.9.1. パスワードを変更する」を参照してください。また、外部 BTS 認証設定については活用編「7.5. 外部 BTS 認証を設定する」を参照してください。

### アカウント設定

ユーザ名	Riku Shomura 100文字以内
認証方式	ローカル認証
ログインID	* ※メールアドレスと同じになります。
メールアドレス	niku.shomura@shiftinc.jp
言語	日本語
プロフィール写真	<input type="button" value="ファイルを選択"/> <small>添付可能なファイル形式 ⓘ</small>
メール送信形式	HTML/テキスト形式
部署	--選択--
勤務地	--選択--

アカウント編集方法について説明します。

- (1) ヘッダーのプロフィール写真にマウスオーバーしてください。マウスオーバーにより現れるドロップダウンのアカウント設定を押します。



- (2) 編集ボタンを押します。



(3) 変更したい項目を編集し、登録するボタンを押します。

#### アカウント設定

ユーザ名	Riku Shomura	100文字以内
認証方式	ローカル認証	
ログインID	※ メールアドレスと同じになります。	
メールアドレス	riku.shomura@shiftinc.jp	
言語	日本語	
プロフィール写真		<input type="button" value="ファイルを選択"/>
	添付可能なファイル形式 ⓘ	
メール送信形式	HTML形式	
部署	Software Dev. Dep. in Tokyo	
勤務地	東京(神谷町)	

#### 外部BTS認証設定

外部BTSにアクセスするための認証情報を設定します。認証情報は複数の紐づけ機能で利用されます。

外部BTS	認証情報	削除
+ [ ]		
	<input type="button" value="登録する"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

各ユーザはアカウントに関する以下の表の設定を行うことができます。

設定項目	備考
ユーザ名 ※	100 文字以内でユーザ名を設定してください。
言語	CAT の表示言語を日本語/英語(English)から選択できます。
プロフィール写真	写真をアップロードします。
グループ ※	グループを選択できます。
勤務地 ※	勤務地を選択できます。
メール送信形式	受信したいメールの送信形式を選択できます。なお、メール送信形式が HTML 形式以外である場合にも、レポートメールは HTML 形式で送信されます。

※LDAP 認証を利用しているユーザで、項目を LDAP から参照している場合変更できません。

## 1.9. ログインしているユーザのパスワードを設定する

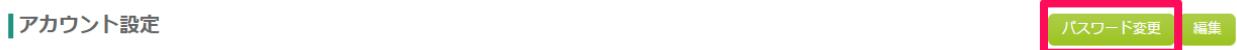
自分のアカウントのパスワードを変更する場合や、パスワードロックがかかった場合等の設定手順を説明します。

### 1.9.1. パスワードを変更する

ログインに用いるパスワードを変更します。以下の操作を行ってください。

※LDAP ユーザは、CAT からパスワードを変更できません。

- (1) アカウント設定画面にてパスワード変更ボタンを押します。



- (2) パスワード変更のための入力を行い、登録するボタンを押します。

パスワード変更	
現在のパスワード	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="text"/> 8文字以上英数
新しいパスワード(確認用)	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録する"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

入力項目	説明
現在のパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しく設定したいパスワードを入力します。
新しいパスワード(確認用)	確認のため新しく設定したいパスワードを再度入力します。

### 1.9.2. パスワードを再設定する

パスワードを忘ってしまった場合、およびアカウントがロックされている場合(本節末尾の「※アカウントロックについて」を参照)はパスワードの再設定が必要です。ここでは、パスワードを再設定する方法を説明します。

- (1) ログイン画面より、リンク “パスワードを忘れた場合” をクリックしてください。



(2) パスワードを再設定するアカウントのメールアドレスを入力し、申請ボタンを押します。

申請ボタンを押すと、入力されたメールアドレスにパスワード再設定のための URL を添付したメールが送付されます。

(3) 入力したメールアドレスに送信された、パスワード再設定のための URL をクリックします。



(4) 新しく設定したいパスワードを、パスワード欄と再入力欄に入力し、送信するボタンを押します。セキュリティ上の問題のため、新しいパスワードには現在のパスワードを設定できません。

#### ※アカウントロックについて

CAT では連続 5 回ログイン試行に失敗するとアカウントはロック状態になります。ロックされるとロックを解除するまでログインができなくなります。ロック解除は上記の方法、あるいはアカウントロックを報告するメールに添付された URL からできます。

※ダウンロード版をご利用でメール設定をしていない CAT は上記機能をご利用できないため、

ユーザ管理画面からパスワードを変更して、アカウントロックを解除してください。

詳細については「CAT ユーザマニュアル活用編 1.7.パスワードを変更する」を確認ください。



## 1.10. 利用するプロジェクトを選択する

CATにログイン後、プロジェクト一覧画面が表示されます。ログインユーザが参加しているプロジェクトが一覧で表示されます。異なるサービスのプロジェクトを参照する場合には、左カラムサービス一覧をクリックして、一覧メニューから選択します。プロジェクトをクリックしてCATを開始しましょう。

※ステータスが終了状態のプロジェクトは“終了したプロジェクトも表示”にチェックを入れることで表示されます。

[画面項目]

項目	説明
プロジェクト名	登録されているプロジェクトの一覧を表示します。 プロジェクト名をクリックするとプロジェクトの詳細画面を表示します。
工程名	現在の工程名が表示されます。
バージョン	工程のバージョンが表示されます。
ステータス	プロジェクトの状況が表示されます。
開始日・終了日	プロジェクトの開始日と終了日が表示されます。
メンバー数	プロジェクトのチームメンバーの人数が表示されます。
サービス	サービスを選択できます。 プロジェクト一覧には選択したサービスのプロジェクトが表示されます。
同時表示件数	1ページに表示するプロジェクト数を選択できます。 選択可能な表示件数は 10, 30, 50, 100 です。
検索	入力した文字列をプロジェクト名に含むプロジェクトを検索できます。
全表示	通常、ステータスが終了となっているプロジェクト非表示であるが、全表示チェックボックスにチェックを入れると、表示されるようになります。

## 1.11. 全画面で共通する機能

CAT は表の表示や検索機能等、全画面間共通の機能として説明します。

### 1.11.1. グリッド表示について

下記の様な表形式の表示箇所は、一部を除き(※)ソート・カラムの非表示・グルーピング等ができます。次に様に操作し、表示をカスタマイズできます。

テスト仕様書一覧						
No ↑	シナリオ	テスト仕様書	工程	担当者	機能	
1		Smoke test in India	a版	サービス管理		
2		Bigbang testing specification	リリース版	企画 木下,開…	その他	
5		【Pattern1】01.Testing specification(画面系…	リリース版	Shift Admin, …	進捗管理	
6		【Pattern1】02.Testing specification(機能系…	リリース版	開発 棚,開発…	進捗管理	
7		【Pattern1】03.Testing specification(機能系…	リリース版	Dev Uga,開発…	進捗管理	
8		【Pattern1】04.Testing specification(画面系…	リリース版	開発 棚,営業…	進捗管理	
9		【Pattern1】05.Testing specification(画面系…	リリース版	開発 中沢	進捗管理	
10		【Pattern1】07.Testing specification(テスト課…	リリース版	開発 棚,開発…	重要課題管理	

※項目によりグルーピングができない箇所、ソートができない箇所があります。

カラムのヘッダーにマウスオーバーするとカラム右端に下三角ボタンが現れ、押すとドロップダウン上に表示設定ができます。



[各操作]

項目	説明
カラムのヘッダー	項目名を表示します。 ソート可能な項目はクリックするとソートを変更できます。 カラムを左右にドラッグするとカラムの並び替えが可能です。
ソート	カラムを昇順/降順でソートします。
カラム	各カラムの表示/非表示を選択します。
グルーピング	カラムの要素によってグルーピングします。グルーピングは、チェックボックスを非チェックにすることで解除できます。
フィルター	カラムの要素によって表示/非表示を選択します。 テキスト検索の場合、オーダー参照 -画面 の様に-(半角ハイフン) に続けて語句を入力すると検索結果からその語句が含む物を除外できます。

## 1.11.2. 文字列検索機能について

各画面に存在する文字列検索機能(※)では次の様な検索ができます。

[検索フィールドの例]



[検索可能な内容]

検索文字列	検索内容	例
空白(全角・半角問わず)	複数ワード指定の区切り文字	入力文字列：注文 画面 検索結果： カート注文配送先入力画面 カート注文確認画面 1 カート注文確認画面 2 カート注文完了画面
複数キーワード	AND 条件	入力文字列：注文 画面 -確認 検索結果： カート注文配送先入力画面 カート注文完了画面  →”カート注文確認画面 1”等は”確認”を含むため対象外となります。
-	除外条件(NOT) -を検索する場合¥-を入力します。	入力文字列：注文 画面 ¥- 検索結果： カート注文配送先入力画面-1 カート注文配送先入力画面-2  →¥-で、半角ハイフンを検索できます。

[主な検索場所]

- 各種管理画面の一覧(プロジェクト、サービス、ユーザー)
- テスト管理> テスト仕様書一覧
- 課題管理> 課題一覧

### 1.11.3. ブラウザのタイトル表示について

プロジェクト内の各画面では、各ブラウザのタイトル表示からプロジェクト・機能が判別できる様に次の通り統一されています。

#### [表示例]



145.SampleAddNewFunction(テスト) | CAT-TCM

#### [機能毎の表示体系]

ページ	タブ名
プロジェクトトップ	プロジェクト ID.プロジェクト名(概要)   CAT-TCM
プロジェクト管理	プロジェクト ID.プロジェクト名(設定)   CAT-TCM
テスト管理	プロジェクト ID.プロジェクト名(テスト)   CAT-TCM
課題管理	プロジェクト ID.プロジェクト名(課題)   CAT-TCM
進捗管理	プロジェクト ID.プロジェクト名(進捗)   CAT-TCM
分析	プロジェクト ID.プロジェクト名(分析)   CAT-TCM

### 1.11.4. URLについて

各画面の URL は設定画面を除き、プロジェクト・工程・機能(テスト仕様書編集画面・全体進捗画面等)毎に独立しています。複数のプロジェクトを跨いで管理する場合等、プロジェクト毎にブックマークを作成する等で、プロジェクトトップから開かなくても見たいプロジェクト・工程・画面を直接開くことができます。

#### [URL の例]



## 第2章 制限事項

### 2.1. サポート環境

本節では、CAT がサポートするクライアント環境、ブラウザ、ファイル、外部 BTS、LDAP について説明します。

#### ■クライアント環境

クライアント OS	Chrome (最新版)	Internet Explorer11
Windows 7 Professional 32bit/64bit ServicePack1	●	●
Windows 7 Ultimate 32bit/64bit ServicePack1	●	●
Windows 8/8.1	●	●
Windows 8/8.1 Pro 32bit/64bit	●	●
Windows 8/8.1 Enterprise 32bit/64bit	●	●
Windows 10 Pro 32bit/64bit	●	●
Windows 10 Enterprise 32bit/64bit	●	●

画面解像度は 1024 x 768 以上をサポート

#### ■外部 BTS 連携

連携できるサードパーティ製の BTS(Bug Tracking System)は以下の通りです。連携することで、指定された BTS のプロジェクトと、CAT のプロジェクトの間で課題情報を同期し、指定された BTS 上の課題を CAT 上で確認することができます。

BTS	サポートバージョン	備考
Redmine	1.3.0 – 2.6.x 3.2.x	詳細は「CAT ユーザマニュアル - 活用編 -」を参照してください。
JIRA	5.0 – 8.x	詳細は「CAT ユーザマニュアル - 活用編 -」を参照してください。
Backlog	2015-08-27	詳細は「CAT ユーザマニュアル - 活用編 -」を参照してください。

## ■ LDAP 連携

CAT は、单一または複数のディレクトリを使用した LDAP 認証に対応しています。CAT がサポートする LDAP サーバは Open LDAP と Active Directory です。LDAP 連携方法についての詳細は「CAT ユーザマニュアル - 活用編 -」を参照してください。

## 2.2. 登録可能なファイル形式

CAT がサポートするファイル形式について、テスト仕様書、プロフィール写真、添付ファイルの 3 つに分けて説明します。

### ■ テスト仕様書

テスト仕様書として登録できるファイル形式は Excel(xlsx) と CSV をサポートしています。最大ファイルサイズは 10MB までです。CSV の文字のエンコードは、Shift-JIS (Windows-31J)、Unicode (UTF-8, UTF-16) をサポートします。また、テストケースとして 1 度にアップロード可能な件数は 1 テスト仕様書内 5000 件までです。

テスト仕様書のダウンロードも Excel(xlsx) と CSV となります。

### ■ プロフィール画像

ユーザのプロフィール写真として登録できるファイル形式は以下をサポートしています。登録時にファイルはサムネイル化されます。

ファイルの種類	拡張子
画像ファイル	png, jpeg, jpg, gif, bmp, tif

### ■ 添付ファイル

添付ファイルとして登録できるファイル形式は以下をサポートしています。最大ファイルサイズは 10MB/1 個で、ファイルの個数は 10 個までです。

ファイルの種類	拡張子
テキストファイル	txt, csv, tsv, log, json
Office	doc, docx, xls, xlsm, xlsx, ppt, ptx, rtf, odt, ods, odp, odg
HTML/XML	html, htm, xml
画像ファイル	png, jpeg, jpg, gif, bmp, tif
圧縮ファイル	zip, lzh, lha, tar, tgz
音声ファイル	wav
PDF	pdf, xps, oxps
動画ファイル	mp4, webm
その他	crash, ips

※課題管理のみ、最大 100 個まで添付が可能です。

※添付ファイルの上限は 100MB まで拡張できます。詳しくはサポートまでお問合せください。